



令和4年度 勝浦中・体育祭コロナ感染予防対策

令和4年5月16日

1. 共通事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策及び熱中症防止対策の徹底
- (2) 集団感染(クラスター)を発生させないという意識と実践
- (3) マスクを外しても良い場面と着用する場面の整理

2. 具体的な場面

場 面	確 認 ・ 指 導 事 項
開・閉会式 ラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用する。 ・校歌、ラジオ体操はマスクを着用して行う。 (横2m以上、縦4m程度の距離を確保する。) ・ラジオ体操での発声、校歌を歌う場面で大きな声を出すことを強要しない。
応 援 時 (応援合戦時)	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用することを基本とする。 ・団席、応援合戦での隊形は、1m以上の距離を確保する。 ・大きな声を出す等の場合は、周りの人との2m以上の距離を確保する。 (対面でも同様とする) ・写真撮影時等、一時的にマスクを外す場面では、発言、会話等はしない。
競 技 中	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、待機時はマスクを着用し、1m以上の距離を確保する。 ・競技の前後に、手指の消毒を行う。 (競技の前後は、感染防止対策係、その他の場面は、個人のスプレーボトルで消毒を行う。) ・競技中はマスクを外してもよい。 例:徒競走では、出発直前にマスクを外し、ハーフパンツのポケットにたたんで入れる。競技後、マスクを着用する。 ※注意:競技内容によってはマスクを着用する。(対面での競技や大きな声を出すことが必要な競技など) ・全ての競技で、ゴールした後にマスクを着用する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに水分補給をする。(多めの水分を用意する) ・飲み物の回し飲みや、タオルの共有はしない。 ・気持ち悪くなった場合等は、無理をせずに団席にいる先生や友達に申し出る。 ・晴天時や気温が上がった場合等は、帽子の着用や避暑用テントを積極的に利用する。※天候・気温によっては、アイシング用の氷のうを学校が用意する。 ・テント内では、1m程度の距離を確保する。 ・マスクの予備を持参し、無くなった場合は救護テントに申し出る。

〈学校医からの助言〉

- ・屋外でのマスクを外してもよい距離は、2mを基本とする。
- ・徒競走などは、マスクを外してもよいのではない。
- ・競技の内容によっては、感染のリスクがないわけではないので、必要に応じてマスクを着用するなど、感染防止を考慮したほうがよい。
- ・競技の待機場面や競技後などに、密にならないよう気を付けてほしい。
- ・マスクを着用しても、大声により多少の飛沫が飛ぶ可能性があるため、練習時や当日の風向きなどは考慮したほうがよい。